

令和7（2025）年度東京大学大学院農学生命科学研究科

応用生命化学専攻・応用生命工学専攻修士課程B日程AO方式による選考に関する補足説明（和訳）

東京大学大学院農学生命科学研究科では、2025年度応用生命化学専攻・応用生命工学専攻修士課程に入学（4月または10月入学）を希望する学生のうち若干名を、下記の日程（B日程）においてアドミッションズ・オフィス(AO)方式で募集する。AO方式による選考通過者は筆記試験が免除される。

なお、本補足説明は英文版をもって公式文書とし、本和訳との間に解釈の相違が生じる場合には英文版が優先される。

1. 募集人数

2025年度の募集人数

応用生命化学専攻：若干名

応用生命工学専攻：若干名

2. 出願資格

下記の（1）または（2）に加えて、志望指導教員が本方式での出願を認めた者（注1, 2）

（1） 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び2025年3月31日（2025年4月入学の場合）または2025年9月30日（2025年10月入学の場合）までに修了見込みの者。16年未満で小学校、中学校、高等学校及び大学教育を修了した出願者は、学歴について明確に説明しなければならない。（注3, 4）

（2） 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について当該外国政府又は関係機関により評価を受けているものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者及び2025年3月31日（2025年4月入学の場合）または2025年9月30日（2025年10月入学の場合）までに授与される見込みの者。（注3, 4）

- (注1) AO方式による選抜を希望する者は、必ず事前に志望指導教員と連絡を取り、志望指導教員の許可を得なければならないため、余裕を持って志望指導教員に連絡すること。
- (注2) AO方式による選抜が「否」と判定された場合でも、【一般選抜】または【社会人特別選抜】(共に筆記試験)を受験することができる。
- (注3) 上記(1)、(2)には、外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了した場合を含む。
- (注4) 日本の大学を卒業した者及び卒業見込の者についても、初等、中等教育も含めて日本語以外の言語で教育を受けるプログラム等の卒業(見込)者の場合、出願対象審査を行うので、2024年10月9日(水)までに農学生命科学研究科教務課学生支援チーム大学院学生担当(令和7(2025)年度東京大学大学院農学生命科学研究科修士課程学生募集要項「14. 問合せ・連絡先」参照)に申し出て、その指示に従うこと。審査の結果、認められた者について出願を受け付け、受験を許可する。

3. 入学時期

2025年4月又は2025年10月

(合格者は、2025年4月あるいは2025年10月のいずれかでの入学を選択できる。)

4. 選抜方法および試験科目

入学者の選抜は書類審査(第一次選抜)、口述試験(オンライン：第二次選抜)による。(注) 書類審査、口述試験共に、英語能力および農芸化学や専門領域に関わる俯瞰的な視野と関連知識の量、論理的思考量、研究に対する意欲などを問う。書類審査の通過者に対してのみ、口述試験を行う。口述試験は英語で行う。口述試験に際しては、教科書、参考書(インターネット含む)等を用いた場合は不正行為となる。

(注) 書類審査に必要な書類は本要項7.に従って提出すること。

5. 出願方法および出願期間

令和7(2025)年度東京大学大学院農学生命科学研究科修士課程学生募集要項 4. (B日程)の記載に従う。

6. 試験期日

書類審査（第一次選抜）：令和6年（2024）年12月2日（月）～12月10日（火）

口述試験（第二次選抜）：令和6年（2024）年12月25日（水）（注1,2）

（注1） 書類審査を通過した者には令和6年（2024）年12月12日（木）に電子メールで連絡する。

（注2） AO方式による選抜で「否」と判定された場合は、【一般選抜】または【社会人特別選抜】（共に筆記試験）を受験すること。筆記試験の日程は令和7(2025)年度東京大学大学院農学生命科学研究科修士課程学生募集要項を確認すること。

（注3） 審査書類の虚偽記載や口述試験において不正行為があった場合には「否」と判定される。

7. 提出書類

- ・自己PRに関する小論文（英語 800 words 程度）（注1）
- ・推薦状一通（志望指導教員が書いたものは認めない）。
- ・奨学金等の獲得状況（授与機関と奨学金の名称および受給期間を明記すること。様式自由）
- ・IELTS のスコア（TOEFL iBT のスコアの代わりに提出する場合。TRF (Test Report Form) 番号を付したスコアシートの電子コピーを提出すること。）

以上のものはオンライン提出(Web 出願システムに PDF をアップロード)する。すべてを1つの PDF ファイルにまとめ、「AO 方式による選考の提出書類」の提出枠に PDF データをアップロードすること。この他、令和7(2025)年度東京大学大学院農学生命科学研究科修士課程学生募集要項10. の記載にある書類等を記載に従って提出する。ただし、成績証明書については GPA スコアの分かるものでなければならない。最終経歴が本学農学部卒業（見込）者及び農学生命科学研究科大学院外国人研究生又は大学院研究生在籍者であっても、出身大学等の成績証明書を提出すること。TOEFL や IELTS については、共に 2023 年 2 月よりも前に受験した試験のスコア報告書は受け付けないので注意すること。（注2）

（注1） 自己PRに関する小論文は、これまでに力を入れてきたサイエンティフィックな活動について書くこと。

（注2） 以下のいずれかに該当する応募者は、英語能力試験のスコア提出が免除される。

April 2024

- ・*オーストラリア、カナダ、アイルランド、ニュージーランド、南アフリカ共和国、英国、米国内に所在する大学において全科目を英語で教育する学士課程の卒業生又は、卒業予定者
- ・上記(*)の国々に所在する企業又は研究機関などにおいて、過去6年間に最低3年間、フルタイム職員として英語による業務を行っていた者
- ・英語を母国語とする国において学校教育における12年の課程を修了した後、外国の大学その他の外国の学校(その教育研究活動等の総合的な状況について当該外国政府又は関係機関により評価を受けているものに限る。)において、修業年限が3年以上である課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者及び2025年3月31日(2025年4月入学の場合)または2025年9月30日(2025年10月入学の場合)までに授与される見込みの者

ただし、出願者の国籍や学歴にかかわらず、本研究科は全出願者に英語能力証明書の提出を求める権利を留保する。また上記英語能力証明書を提出しない場合は、それ以降の審査を行わない。

8. 結果通知

選考結果通知：令和6年（2024）年12月27日（金）

選考結果はメールで連絡する。選考通過者は筆記試験が免除される。

9. 注意事項

同一年度に同一日程の入学試験において、本要項に記載した出願資格によってAO方式による選抜の出願資格を得た者は、自動的に【一般選抜】【社会人特別選抜】による選考の受験資格も得ることができる。また、同一日程の入学試験において、本研究科内の2つ以上の専攻に出願することはできない。指導教員についても、2人以上を志望することはできない。その他については、令和7(2025)年度東京大学大学院農学生命科学研究科修士課程学生募集要項13.(1)、(3)～(16)の記載に従う。

10. 問い合わせ・連絡先

〒113-8657 東京都文京区弥生 1-1-1

東京大学大学院農学生命科学研究科

・応用生命化学専攻 鈴木 道生

April 2024

電話番号 日本国内から : 03-5841-5153 / 日本国外から : +81-3-5841-5153

Email : amichio@g.ecc.u-tokyo.ac.jp

・ 応用生命工学専攻 西山 真

電話番号 日本国内から : 03-5841-3074 / 日本国外から : +81-3-5841-3074

Email : umanis@g.ecc.u-tokyo.ac.jp

・ ウェブサイト : <https://www.bt.a.u-tokyo.ac.jp>